# Blitzen Times

April.2025

Vol.90

## Race Report

3.29　真岡芳賀ロードレース
3.30　宇都宮清原クリテリウム

# 今年もJプロツアー栃木2連戦で開幕

宇都宮ブリッツェンにとって全日本選手権、宇都宮ジャンパンカップと並び重要なJプロツアーの栃木2連戦。初戦の第2回NTT東日本 真岡芳賀ロードレースは、平坦基調の122・4キロで争われる。新体制になって初めて臨むホームレース。ブリッツェンの存在感を示すことは、今後のレースを戦う上でも重要なことだ。

Digest movie

前日と比べてと気温は低下、レースは雨の中でスタートした。スタート直後は、オープン参加の寺田吉騎（Bahrain victorious development team）選手をはじめ、さまざまな選手が攻撃を仕掛ける。ブリッツェンもこの動きにおくれを取らぬよう、武山やルーベン、沢田、花田など各選手がチェックしていた。

逃げができたのは6周目。谷、白川幸希（ヴィクトワール広島）選手、高梨万里王（レバンテフジ静岡）選手の3名の逃げが完成する。しかし、この動きを許さなかったのがレース前に岡が「頭一つ抜けていると思う」と話していたチームブリヂストンサイクリング。ペースアップを図り、逃げの3人を吸収する。同時に、このペースアップについていけない選手が続出し、30名ほどの集団となる。

次にレースが動いたのは、9周回完了手前。フォン、寺田選手、宮崎泰史（KINAN Racing Team）選手、織田聖（マトリックスパワータグ）選手、松田祥位（チームブリヂストンサイクリング）が、5名の逃げに。松田選手はその後ドロップし、4人の逃げとメイン集団という構図になる。なお、メイン集団には岡と菅野、沢田が残っていた。

周回を重ねてもこの構図は変わらず。タイム差はラスト1周で25秒と逃げ切りが濃厚になる。

そして、最後のスプリント勝負。ここまで120キロ以上を走り消耗する中で、最後のコーナーをフォンは2番手で入り、スプリントを開始。フォンは見事なスプリントで優勝を果たした。最後は後ろを振り返り確認するほどの余裕。ガッツポーズでフィニッシュラインを通過した。

ツール・ド・台湾、終了後「今後、どのレースでもチャンスがあれば勝ちにいく。次のホーム2連戦は重要なレース。チームとしても戦っていきたいし、全力でサポートしていきたい」と話していたフォン。乗らなければいけない逃げに乗れたこと、最後のスプリントで勝つことができたのは、ロードレーサーとしてのこれまでの経験があるからこそだ。

また、フォン以外の選手は序盤でしっかりチェックに入り、岡や沢田はもちろん若手の菅野も最終盤まで残った。優勝以外にも収穫があったレースとなった。

**【フォン・チュンカイ選手のコメント】**

温かいサポートをありがとうございます。チームメイトやスタッフにも感謝しています。UCI レースや J プロツアー、これからも激しい戦いが続いていくと思うが、僕たちは勝つことを目標に進んでいきます。

**NTT 東日本 真岡芳賀ロードレース**

| | | |
|---|---|---|
| 1位 | フォン・チュンカイ（宇都宮ブリッツェン） | 2h'56"06 |
| 2位 | 織田 聖（マトリックスパワータグ） | +0'00" |
| 3位 | 宮崎泰史（KINAN Racing Team） | +0'00" |
| 10位 | 岡 篤志 | +0' 17" |
| 24位 | 菅野蒼羅 | +7' 04" |
| 25位 | 沢田 時 | +7' 55" |
| DNF | 武山晃輔 | |
| DNF | 花田聖誠 | |
| DNF | ルーベン・アコスタ | |
| DNF | 谷 順成 | |

# 最終周回、大集団スプリントを制したのは!?

フォン・チュンカイの勝利で最高のホーム初戦を飾ったブリッツェン。清原工業団地周辺周回コースで開催される1周3キロと短距離で争われる本レースは、大集団スプリントが予想される。残り数周回からの位置取りが非常に重要だ。レースは予選をクリアした120名が決勝へ。ブリッツェンは、5名で決勝に臨むことになった。

Digest movie

レースは、昨日同様アタック合戦の応酬。6周目では沢田が単独で飛び出すも吸収されてしまった。その後、複数人が飛び出す場面もあったが、決定的な逃げは完成しなかった。

10周回完了時の先頭通過者に与えられる地元賞では、孫崎大樹（ヴィクトワール広島）選手や渡辺一気（京都産業大学）選手、林原聖真（群馬グリフィンレーシングチーム）選手、宮崎泰史（KINAN Racing Team）選手が抜け出したが、再び集団は一つとなる。

レースは逃げができないまま進行。17周では沢田と、同じくシクロクロス選手としても活躍する織田聖（マトリックスパワータグ）選手が2人で先行した場面もあったがそれも吸収される。

この頃、優勝候補のチームブリヂストンサイクリングは人数を揃えチームで固まる。一方のブリッツェンも前方で固まり、他のチームが先行すればチェックに入るという状況だった。

18周、林原選手が飛び出した場面もあったが吸収。スプリントを見据えて各チームがまとまり始める。19周目、人数を揃えているのはブリヂストン。一方で、武山や沢田も先頭に入り、岡とフォンの脚を休ませる。

ラストの20周目に突入。ブリッツェンは、フォンと岡がまとまり走行。Sparkle Oita Racing Team、ヴィクトワール広島、ブリヂストンもスプリントに備えて一つになる。勝負のポイントなるのは各コーナー。ヘアピンカーブでは、フォンが岡を引き連れていい位置で走行。その後、岡はブリヂストントレインにスイッチし、番手をとる。Sparkle Oita Racing Team やヴィクトワール広島も複数人をそろえる中、枚数的には不利、しかし岡のテクニックであれば可能性はある。

最後のコーナー。岡はブリヂストンの後ろから単独でいち早くスプリントを開始。踏み続けたが最後は孫崎選手にかわされ惜しくも2位となった。

しかし、単騎になったにも関わらず、持ち前の身体能力で優勝争いに食い込み、サポーターを沸かせた。

**【岡篤志選手のコメント】**

強豪チームを相手に最終局面でフォン選手が素晴らしい動きをしてくれた。いい形で最終コーナーを曲がれたが、あと少しのところで力及ばず勝ち切れなかったので、本当に悔しいところ。ただ、みんなよく動いてくれていいレースができたのではないかと思う。

（最終的に岡選手とフォン選手、どちらがスプリントをするかは2人で決めるようにとミーティングで言われたことに対して）最終的には今日は「岡が」とフォンが言ってくれてたが、自分自身、昨日いい走りができず自信をなくしていることもあった。しかし、フォンが「ついてこい」といって引き上げてくれた。自分が行くしかないという思いで走った。終盤はラスト 2km ぐらいでフォン選手が先頭に出てくれた。数を揃えるブリヂストンの選手にラスト 700m ぐらいで抜かれた。そこで自分もなるべくポジションを失わないように、ブリヂストンの最後の選手の後ろにつけるように、他のチームと戦いながらポジション取りをした。

ただ、最終コーナーからゴールまでは短い。そこからブリヂストンの選手を追い越すのは不可能なため、イチかバチか 400m ぐらいでスプリントをかけて、最終コーナーの前で先頭に出ようとしたが、イン側を占められて失速して、スピードに乗れなかった。自分も強引に行ってしまったため仕方ない。それがなければいけたかなと思う。チーム内の連携に関しては、ツール・ド・台湾から何度か挑める場面があったが、レベルも高くトレインを組めなかった。しかし、今回いい形はできたかなたと思う。人数が足りなかった部分もあったが、最後はいい形でスプリントに臨めた。

**NTT 東日本 宇都宮清原クリテリウム**

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 位 | 孫崎大樹（ヴィクトワール広島） | 1h' 18"02 | 40 位 | 谷 順成 | +0' 06" |
| 2 位 | 岡 篤志 （宇都宮ブリッツェン） | +0' 00" | 44 位 | 沢田 時 | +0' 07" |
| 3 位 | 黒枝 士揮（Sparkle Oita Racing Team） | +0' 00" | 77 位 | フォン・チュンカイ | +0' 24" |
| | | | 88 位 | 武山晃輔 | +0' 47" |

## 真岡芳賀ロードレース

# 優勝記念グッズ販売決定!!

▲ステッカー（55mm×65mm）

▲ステッカー（54mm×54mm）

◀アクリルスタンド（70mm×120mm）

※デザインは制作中のため、変更になる場合がございます。

## アクスタ+ステッカー2枚セット

## 3,000円

購入はこちらから→

宇都宮ブリッツェンオンライングッズショップ

https://blitzen.theshop.jp/

## 私たちは宇都宮ブリッツェンを応援しています。

MERIDA Miyata / カンセキ / 下野新聞社 / Mitutoyo / NTT東日本 / FOODLIER / TOYOTA WOODYOU HOME / ローラン / 株式会社 ティーツーテクニカル / 日成メディカル / ナカニシ / 足利銀行 / ORES / 住めば愉快だ宇都宮 / フクダヘルシー / HONDA Honda Cars 栃木中央 / 弱虫ペダル / UDOKEN / NIPPON EXPRESS / 作新学院 / 栃木信用金庫 / とちぎテレビ / 仲田総業株式会社 / GOKO human link corporation / TCB観光 / くにい矯正歯科 / HINO / (株)松本建設 / たちっぷとちぎ JAグループ栃木 / TOCHIGI SC / 関東自動車 / 宇都宮食販 / トヨタカローラ栃木 / SUBARU 栃木スバル自動車株式会社 / SHIMANO / BOA / Dexerials / 藤井産業 / Continental Home コンチネンタルホーム / たいらや / JB JARBIS / 榮商事株式會社 / KODAIRA ENTERPRISE / 多気山茶動尊 / MIZUHO みずほ証券 / PÂTISSERIE QUEEN / こくみん共済 coop / 宇都宮塗料工業株式会社 / ヤマト運輸 / CDP シーディーピージャパン / CRTハウジング / 日本栄養給食協会 / YOKOO 横尾製作所 / Wellness / 株式会社 ツカサ精密 / mommiya / 宇都宮中央法律事務所 UTSUNOMIYA CHUO ATTORNEYS AT LAW / 栃木トヨペット / TAKATSUE MTB RESORT / 渡辺産業株式会社 / 業務用食品PRO KOKUANE / UBC 宇都宮文化センター株式会社 / Fuji Logicargo / 有限会社 大草鉄工建設 / Sokan / PR TIMES / ISHIKAWA / 第一生命 Dai-ichi Life Group / ROOTS SPORTS JAPAN / 株式会社 景観プランニング / ライブガーデン / 日本生命 / 足利電装株式会社 / 天昇堂 / ゆめクリニック / HOTEIYA / 住友生命 / 税理士法人 児玉税経 / あぜみち / 税理士法人あさひ / YUU YUU WORLD 株式会社ユーユーワールド / アトム建販株式会社 / (有)岸飯金工業所 / OLEA / クレハ合繊